

Hello, Kids!

小学校英語
情報誌

2009
Vol.3-4

特集:どう使う?『英語ノート』— 担任のみの英語活動



千葉県松戸市立
新松戸南小学校
矢代 毅宏先生

巻頭言 フィンランドの学校参観
柳 善和(名古屋学院大学教授).....2

新カリキュラム作成を目指して
齋藤真樹(栃木県小山市教育委員会指導主事).....3

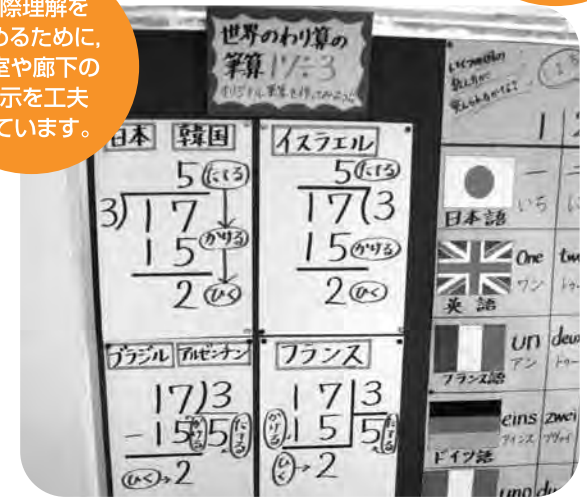
実践報告 Yes, you can!!
小川賀子(香川県高松市立鬼無小学校教諭).....4

担任のみで楽しもう~Take it easy.~
藤井達也(長崎県長崎市立山里小学校教諭).....6

ちょっと一言 白畑知彦(静岡大学教授).....8

Say "Hello" with Alison!
根本アリソン(福島県双葉郡大熊町 外国人英語講師).....8

国際理解を
深めるために、
教室や廊下の
掲示を工夫
しています。



「ランチ・
メニューを作ろう」
の授業では、子ども
たちは楽しみながら
活動を行い
ました。

開隆堂

フィンランドの学校参観

名古屋学院大学教授 柳 善和



9月にフィンランドとオランダで英語の授業を見せてもらう機会がありました。このうちヘルシンキでは小学校と高校に1日ずつ出かけて、英語の授業を観て、先生たちと懇談できました。

小学校の授業で印象に残ったのは、子どもたちが一生懸命に勉強する姿です。授業は、宿題の答え合わせをして、新しい単元で先生の説明を聞き、ゲームを隣同士でやって、次の宿題の指示を神妙な顔でメモする、という具合に進みました。派手な見せ場もなく淡々と進む授業でしたが、日本の子どもたちよりももっとシャイで、先生から言われたことに真面目に取り組む姿勢に好感が持てました。

どの授業も20~30人くらいの人数で「少人数」とは言えず、でも苦手な子どもたちには、他の子がゲームをしている間に先生がいろいろ手伝い、勉強が遅れないように配慮していました。

授業のあとで、見学した先生たちと一緒に感想などを話し、疑問に思ったことなどをたずねていると、いつのまにか校長先生も加わってきました。校長先生も含めて英語でのやり取りにはまったく不自由しません。「この国で先生であることはペイするの?」という質問に対して、「そうね、やっぱり、independence(独立, 自立)かな。お金は儲からないけど。」という答え。

先生たちの自信を感じました。フィンランドでは教員は修士号を持つことが基本で、専門職としての評価も高く、高校生には人気の職業です。それだけに、自分の授業の進め方にはかなりの裁量権を持ち、社会の信頼も集めています。

別の日に出かけた高校では、75分の授業はほとんどすべて英語で行われ、「理想のパートナーについて」という教科書の内容に沿って、グループで話し合い、ロールプレイでブラインドデートをする設定など、話す活動を中心に展開していました。生徒たちが、まったく緊張する様子もなく、英語で話し続けられる能力の高さに圧倒されました。

どちらの学校でもこちらの質問が一段落すると、今度は日本の教育や社会、文化に関する質問攻めにあいました。来日経験のある先生も何人かいました。最近の日本の学校の様子をたずねられ、新しい学習指導要領が発表されて、日本でも小学生が英語を勉強するようになって、先生方は研修に出かけて一生懸命に勉強していること、それから高校でも英語で授業をするのが原則になること、また日本の英語の授業も見に来てほしい、と一生懸命くり返しました。近い将来、フィンランドの先生たちが日本に来るときに、日本の英語の授業が彼らにどう映るのか、議論したいと思います。

新カリキュラム作成を目指して ~学校を支える教育委員会としての取り組み~

栃木県小山市教育委員会指導主事 齋藤 真樹



本市では、文部科学省の教育課程特例校制度により、1年生から英語を実施しています。名称は「英語科」ですが、ねらいは外国語活動とほぼ同じで、言語習得ではなく、音声中心のコミュニケーション活動を通して、主体性・積極性等を育むことと、言語や文化に親しませることを主としています。

全校実施から4年目を迎えた今年度は、現行カリキュラムの改善や外国語活動との整合性の確認、さらに小・中の円滑な連携・接続を図るため、新カリキュラムの作成に検討委員会を立ち上げて取り組んでいます。本稿ではそれを中心に紹介させていただきます。

1. カリキュラム作成にあたって工夫している点

(1) 子どもの実態に合った内容にするために

指導する内容は、子どもの実態に合ったものでなければなりません。そのため検討委員会のメンバーは、子どもをもっともよく理解している学級担任と実際に授業を行っているALTを中心に構成しました。また、小・中連携を考慮して中学校の英語科教員も入っています。

(2) 指導案の構成の工夫等

現行の和文のみの表記に英文を追加し、見開き2ページ1セクション構成とすることで、学級担任とALTの打ち合わせをスムーズにできるようにしています。また、指導案の「児童の活動」「教師の活動」をより具体的に表記することで、担任が単独で実施する際にもわかりやすい指導案になるようにしています。

(3) Suggested Activities(お薦めの活動)の追加

指導案の中心となる活動にSuggested Activitiesを加え、その中から子どもの実態やクラスサイズ、授業者の意向等により活動を選択できるようにしてあります。

(4) 『英語ノート』との関連

指導案の「留意点」に『英語ノート』との関連を入れ、授業者が必要に応じて『英語ノート』を活用できるように工夫しています。

(5) 指導案以外の工夫

資料として、Almighty Games(多くの場面で使えるゲーム)、Optional Lessons(補充単元)、歌、クラスルーム・イングリッシュ等、授業をするうえで参考になるものを加えています。

2. 今後の予定

現在、各委員およびALTが本市の子どもたちのため、献身的に作業に取り組んでいます。今年度末には新カリキュラムの試作版を完成させ、来年度全小学校で試行する予定です。さらに、そこで出た課題を踏まえて修正し、平成22年度には新カリキュラムを完成させ、平成23年度の新学習指導要領完全実施に向けて準備を進めていく予定です。

これまで、市で作成した現行カリキュラムを各校の実態に合わせて自校化し、取り組んできました。その結果、学校間で差が生じ、中学校段階での指導が困難になりました。しかし、新カリキュラムを規準として指導することにより、各校の足並みがある程度揃うことから、小・中の連携・接続がより図りやすくなると考えています。

3. 終わりに

本市では、小学校の先生方の積極的な取り組みにより、目指す子ども像に沿った成果が現れてきています。教育委員会としては、今後もカリキュラムの改善及び「英語科」の指導力向上を目指した研修会の開催等により、学校をよりサポートできるよう取り組んでいきたいと考えています。

Yes, you can!!



香川県高松市立鬼無小学校教諭 小川 賀子

担任が楽しく進んで英語活動を行うためのポイントを、本校の教師の言葉を例にとってお話しします。

1. 英語をしゃべるのに自信がないなあ。

担任は、「英語を話す手本」ではなく、「英語を使おうとする手本」です。発音は少々悪くても、あまり単語を知らなくても、進んで話そうとする姿こそ、子どもたちのやる気を引き出すよいお手本です。

とは言え、やっぱり正しい発音を聞かせたい。そのときは、『英語ノート』付属のソフトを大いに活用します。本校では、英語活動室に常時セットし、毎時間活用しています。ネイティブの発音をくり返し何度でも聞けるし、子どもたち



が操作したり、ホワイトボードに映しているのでマジックで書きこんだりと、『英語ノート』と一体になって活動が進められます。

また、ゲームやチャンツなどの「動」の活動と比べ、付属のCDを聞きながら『英語ノート』の問題をじっくり解く「静」の活動も取り入れることができ、活動の幅が生まれます。

「担任だけで45分も英語をしゃべれない。」という心配は、本校ではまったくありません。いろいろな活動を、デジタル教材をうまく使いながら、クラスの実態を知る担任ならではの構成で組み立てることで、教師も子どもも無理なく活動が行えています。

POINT 1

担任は「英語を話そうとするお手本」になりましょう。困ったときは、『英語ノート』付属のデジタル教材頼み。

2. Chantsってどうやるの？ Gameのやり方だってわからない。

『英語ノート』には、GameやLet's ListenやLet's ChantやShow and Tellなど、いろいろな活動があります。しかし、初めて英語活動に取り組む担任は、この活動をいったいどうやってやればいいのかもわからず不安でした。そこで本校では、月に一度、全員で「英語活動実技研修会」を行っています。ここで、ChantsやGameのやり方を教師と一緒に体験します。昨年度は、私が研修内容を決めて行っていました。本年度は、各学年団持ち回りでリーダーとなり研修を進めています。また、近隣の小学校からも参加していただき、一緒に研修をしています。子どもたちは同じ中学校に進学するので、小学校によって温度差が出ないように連携を大切にしています。



もたちは同じ中学校に進学するので、小学校によって温度差が出ないように連携を大切にしています。

POINT 2

教師だって体験が大切。実技研修をしましょう。

3. う～ん、担任が評価するには…

英語活動においては、英語を話したり書いたりできることを目標にしているのですが、テストはしませんが、評価は必要です。しかし、担任が活動をしながらか評価をするのはたいへん難しいものです。そこで本校では、3パターンの評価をしています。

まず、自己評価です。単元ごとの指導計画をあらかじめ子どもに配っておき、以下の項目で◎○△によって毎時間自己評価をします。

1. 今日の活動は楽しかったですか。
2. 英語を使って話をしましたか。
3. みんなの話をよく聞けましたか。
4. 今度、今日の英語を使えそうですか。

毎時間行っているため短時間でできます。また、指導計画を渡して「イングリッシュ・ファイル」に綴じておくことで、次の時間の活動内容がわかり、英語活動の見通しを持つことができている。

次に、相互評価です。本校のコミュニケーションの目標は、Big voice, With a smile, Big gesture, Eye contactなので、それぞれよく頑張った友だちを「今日のMVP」として発表し、褒め合います。

最後に、活動終了後に担任と口頭で行うGood-bye Checkです。本時で使った単語や英文を使って担任と話すことで、達成度を把握します。



このように評価もパターン化しておくことで、担任だけでも楽々評価ができ、次回の活動の参考にすることができます。

POINT 3

パターン化して楽々評価をしましょう。そして、次の活動に活かしましょう。

4. ついつい「指導資料」に頼ってしまうけれど…

『英語ノート』には「指導資料」があり、この「指導資料」に沿って活動を進めるとスムーズに行うことができます。しかし、次に何をしたらいいか自信がないからと「指導資料」に

かじり付きでは子どもたちは楽しめません。

本校では、活動のカードを、授業で行う順番に、黒板の角に貼っています。子どもたちは英語は読めませんが、なんとなく授業で行う活動の流れを把握することができます。しかし本当は、担任が本時の学習の流れを知るために始めたものでした。活動の順番を黒板に貼っていれば、担任だけの授業でも焦らずに次の活動を行うことができます。



また担任は、ALTやJTEがまねできないサプライズな活動を組み込むことも可能です。本校には標準服があるのですが、『英語ノート1』の「いろいろな衣装を知ろう」の単元で、担任のアイデアにより、毎時間お気に入りの服を着



て英語活動を行いました。時間の始めには今日の服装を褒め合うのです。子どもたちはこれだけで、やる気満々になりました。

POINT 4

『英語ノート』は優れもの。しかし頼り切らずに一工夫を加えれば、担任も子どももやる気Up!

担任だけの英語活動は不安ではありますが、このような様々なアイデアで子どもたちと一緒に楽しく行うことができます。

担任が進んで英語活動を楽しみましょう!!



長崎県長崎市立山里小学校教諭 藤井 達也

1. 担任のみで『英語ノート』を使うときの留意点

(1) 児童・担任の実態に応じた指導計画例

■ケース1・・・『英語ノート』忠実型

『英語ノート』の「指導資料」(文部科学省配布)の展開に沿って忠実に行う。

- ・「指導資料」を熟読し、ALTの役割を削除するのか、担任が兼任するのか、CDやICT教材を使用するのかを検討し計画を立てる。

■ケース2・・・『英語ノート』工夫型

児童の実態に応じ、活動内容を工夫する。

- ・児童の実態により、「指導資料」を基本にして、より簡単な活動や発展的な活動を取り入れ、活動の種類や回数を検討し計画を立てる。

■ケース3・・・『英語ノート』担任オリジナル型

児童・担任の実態に応じて、『英語ノート』の指導内容を基本に、より応用・発展したものに工夫する。

- ・活動内容、語彙、基本センテンス、スキットなどを児童・担任の実態に応じて検討し、より効果的な指導内容になるように計画を立てる。

(2) 学習前の担任の心構え

① 準備物の確認

- ・機材(CD, PC, ICT教材, プロジェクター, 電子黒板等)の動作確認(問題が起きたときの対処, 代わりの教材・教具等も準備しておく)。
- ・カード, ワークシート等の確認(カードが1枚ないために学習が滞り, 緊張感がなくなることがある)。
- ・児童用ネームカード(名札)の確認(ネームカードがない児童に寂しい思いをさせない)。

② その日の児童の様子の確認

- ・テーマや活動内容によって, 配慮が必要な児童の確認を行い, 英語活動で傷つく児童が出ないようにする(家族関係, けが, 病気, 体調への配慮等)。

③ エンターテイナーに徹する心の準備

- ・児童が楽しみながら英語活動を行うことを第一に考え, 担任自身の表情, 声のトーン, ジェスチャー等について, 自己を振り返り, 気持ちを盛り上げる。

(3) 学習中の指導工夫例

① CD, ICT教材の活用

- ・英語の発音や表現に不安を抱え, 間違っただけを教えていないか心配な場合は, CD, ICT教材を積極的に活用し, 不安を取り除く。
- ・『英語ノート』の画像を大きく映し出し, よく見え, わかりやすく説明するためにICT教材を活用する。

② 絵カードの活用

- ・『英語ノート』に準拠した絵カードは, ICT教材CD-ROM「素材」にPDFで保存されている。学習内容に応じて, 必要な枚数を適当な大きさに印刷して掲示用, 説明用として活用する。

③ 独自の資料で発展的に

- ・担任が持っている写真(日本, 海外の有名なもの), 絵はがき, 切手, 土産物, 特産品等を資料として活用する。
- ・国際理解教育的な視点のパネルクイズやスリーヒントクイズなど, 提示を工夫すると児童の関心は高まる。

④ 児童の実態を把握し, 児童の活躍の場を設ける

- ・児童の日頃の生活の様子からわかる嗜好や特技を学習の場で紹介したり, 実際に紹介させたりして, セルフエスティームを高めさせ, 友だちの新たな再発見につながるよう, 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図っていく。

⑤ 英語活動で行うゲームなどは, 事前に時間を見つけて日本語で行っておく

- ・事前に同じルールで違う素材を用いて, 日本語で行っておくと, 英語活動のとき, 簡単な英語の指示で, 児童はそのゲームを想起し, 安心して, スムーズに活動することができる。

⑥ 教科, 他領域の学習内容の関連を図る

- ・教科, 他領域の既習のものや学習中のものを英語活動の教材として取り入れ, 児童の学習への関心を高める。

2. 『英語ノート』を使った工夫例

●『英語ノート 1』

単元	指導の工夫例
Lesson 2	Let's Play (ジェスチャーゲーム)では, ジェスチャーゲームを種類ごと(スポーツ・動物・感情・食べ物・職業等)に行い, 何のジェスチャーをしているのか, 児童にわかりやすくする。また, 担任と児童2人で協力して行うと盛り上がる。
Lesson 3	体育科と関連させて, 代表の児童が腕立て伏せ, 腹筋, 縄跳びをするのを他の児童が"one, two, three"と声を合わせて数える。How many push-ups can you do for 30 seconds?(腕立て伏せ) How many sit-ups can you do for 30 seconds?(腹筋) How many times can you jump rope for 30 seconds?(縄跳び)
Lesson 4	Activityでは, 自己紹介の内容は, Let's Listen(p.24)の言葉をモデルとして示し, 工夫できるところは自分で行わせ, わからないところはたずねるように指示する。
Lesson 6	Activity (身近な外来語をさがそう。)では, 国語科の学習を想起させ, 身近には多くの外来語があり, 日本語と同じような感覚で使っていることを感じさせる。
Lesson 7	担任がクイズを作成するときは, 理科や社会科等で学習したものの写真や, 学校や教室にある身近な物を取り上げて問題にすると児童は関心を高める。

●『英語ノート 2』

単元	指導の工夫例
Lesson 1	Let's Listen①②では, 他のアルファベットや一筆書きで作成できる絵が答えになるように問題を出す。(例:C, L, ヨットの絵など)
Lesson 3	Activityではp.16の絵のカードにその地域特有の行事の写真や絵を付け加えると児童の関心が高まる。
Lesson 4	Activityでは, 児童のできることを事前に把握し, Can you ~?とたずね, 実際に全体の前で対話を行わせると盛り上がる。
Lesson 5	Activityでは, 地域や学校の近くの施設や建物の写真を使用して道案内をさせると児童がより身近に感じ関心を高める。
Lesson 7	Activity1では, 家庭科「生活時間の工夫」を想起させ, 関連させる。
Lesson 9	英語活動の中で記録した自分の将来の夢を文集に掲載し, 思い出の一つとする。

3. 今後に向けて

英語活動は, 他の教科や領域と同じで特別なものではない。普通の教室の中で行っていることを基本とすればよいのである。児童の実態を十分考慮し, 他教科, 領域の学習を英語活動の素材と考えれば, 児童が楽しめる活動がい

くつも仕組めるはずである。この楽しさが親しみとなり, コミュニケーションの素地を養うことにつながると考える。この移行期に試行錯誤を重ね, 児童が楽しめる英語活動を構築していきたい。

第4回—英語の勉強していますか？

本原稿を書いている時点では、『英語ノート』が無償配布されるのか、それともされないのか、決着が着いていません。でも、無償配布であろうとなかろうと、インターネットからプリントアウトするようになったとしても、新学習指導要領の下、2011年4月から外国語活動は始まります。これは変わりません。そこで、改めて小学校の先生方におたずねします。皆さん、英語の勉強していますか？『英語ノート』のCD聞きましたか？

英語が話せないとお悩みならば、英語の勉強を始めないといけません。悩んでいるだけで自然に英語力がついてくるととても便利なんです、世の中そう甘くはないようです。「え～、今からまた勉強するのかよ!？」と不平を洩らすあなたへ。なにも大学受験合格のための英語力が必要と申し上げているわけではないのです。『英語ノート』をよく分析してみてください(つまり、教材研究ですね)。そうすればよくわかります。中学校英語の内容を理解できれば十二分なのです。皆さんの大半は大学入試の英語問題を解き、そして合格してきたのです。加えて、皆さんは中学時代、英語は結構得意科目だったのではないですか？そして、今でも内心は英語を話せたらいいと思いませんか？だったら英語を勉強しましょうよ。もう一度中学校の英語の教科書Sunshineを読んでみてください。NHKラジオ『基礎英語 I』などを聴講するのもいいでしょう。たった15分です。CD付きのテキストも販売されています(ちなみに、この番組は最も初級レベルであるにもかかわらず、小学校外国語活動で先生が使用する英語よりもはるかに高度な内容を扱っています)。

小学校の先生方とお話すると、意外にも英語を勉強していない方が多く、こんなことを書きました。私の心配が杞憂で終わることを切に願っています。

白畑 知彦(静岡大学教授)

Say “Hello” with Alison!



根本 アリソン

イギリス出身・1989年より福島県で英語講師として活躍中

■School Life in England (4)

早いもので2009年最後のコーナーになります。今回はイギリスの子どもたちが勉強する内容と制服についてです。小学校のカリキュラムは1988年からNational Curriculumになりました。2002年からは大きく2つのステージに分かれ、全国学力テストも始まりました。Key Stage 1は最初の2年間(5・6歳の児童)、Key Stage 2はその後の4年間(小学校3～6年生、7～10歳の児童)のカリキュラムです。教科にはCore Subjects(英語、算数、理科と情報技術)とFoundation Subjects(技術、歴史、地理、音楽、図工、体育、宗教)があります。

現在、外国語学習Modern Foreign Languages (MFL)は必修ではありませんが、92%の小学校で実施されています。人気があるのは①フランス語(89%)、②スペイン語(25%)、③ドイツ語(10%)ですが、一部の小学校では中国語(1%)や日本語(1%)も学習しています。2010年から必修になるため、国と学校で準備をしている段階です。日本と同様、国際理解教育の必要性や子どもたちが外国語を学ぶ良さは理解されていますが、指導者の語学力と指導法や指導技術が課題になっています。

イギリスの小学校は全て制服です。実はヘンリー8世(1491～1547)の時代から制服はありました。以前は男女共、学校の指定セーター、ワイシャツにネクタイやブレザーでしたが、現在は冬でも学校の中は暖かいので、学校指定の色や校章付きのポロシャツ、トレーナーなど安くて動きやすいものが多くなっています。それでは、みなさん Merry Christmas and a Happy New Year!

(福島県双葉郡大熊町 外国人英語講師)

